

②北海道運輸局バリアフリー優良事業者等表彰

北海道運輸局では、バリアフリー化に優れた取組を行った交通事業者や関係団体等を表彰しています。これにより、国民のバリアフリー化への理解とその取組の普及拡大を図り、更なるバリアフリー化を推進することとしています。平成26年度は、「羽幌沿海フェリー株式会社」が表彰されました。

平成26年度表彰者

羽幌沿海フェリー株式会社



船内出入口のスロープ



バリアフリー化された船内客席



船内の多目的トイレ

～ 表彰受賞の功績（離島航路事業者におけるバリアフリーの推進）～

取組内容 北海道苫前郡羽幌町にある焼尻島、天売島は人口約600人のうち、約38%が70歳以上、半数以上の約55%が60歳以上の高齢者が居住している離島です。

羽幌沿海フェリー株式会社は、昭和24年に羽幌町と両島間の運航創業以来、長年にわたる乗組員及び従業員に対する独自の教育訓練はもとより、日本旅客船協会が作成した研修教材「高齢者・障がいのあるお客様への接客」による教育を行うなど、バリアフリーに対する意識向上を図り、島民の足としてだけでなく、生活必需品等の輸送や交通手段としても非常に重要な役割を果たしてきました。

また、バリアフリー対応船舶の導入並びに新フェリーターミナルのバリアフリー化について羽幌町に働きかけるとともに、焼尻・天売の両島民をはじめ、観光で訪れる高齢者や障がい者等が円滑に移動できるよう設備の充実を図ってきました。

さらに、今般の設備の充実については羽幌町とも連携し、両島民への周知の他、これまでの観光客誘致活動に加え、札幌地下歩行空間等において積極的にキャンペーンを行うなど、町の発展にも繋げるための努力も行っています。

取組成果 平成25年4月より、バリアフリー法に基づいた高速船「さんらいなあ2」（総トン数122トン）を就航させました。

この高速船は、総トン数122トン、旅客定員130人という小さな船舶でありながらも、バリアフリー客席8席、乗降口の幅を90cmとするなど、移動等円滑化基準を上回る設備にすることにより、高齢者・障がい者等が利用しやすい設備としています。

また、国土交通省「船員労働災害防止優良事業者」に認定されており、社長、部長始め社員が一丸となって、日頃から安全運航に心がけ両島民の生活を支える重要な足として地域に大きく貢献されています。